

倉掛の住民150人が出席

倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会
 井原市井原町倉掛
 会長/梶谷昌弘
 《編集》 倉掛自治連合会
 倉掛自治連合会
 倉掛少年団育成部
 倉掛消防分団第5



環境特集 知識と良識で
 住みよい倉掛を

ゴミ問題を学習

透明及び半透明のゴミ袋使用が定着しつつあるなか、五月九日午後七時より井原市民会館において、倉掛自治連合会主催の家庭ゴミに関する説明会が開かれた。

マナー向上へ意欲的

これは倉掛地区民にゴミ問題の知識を高めて貰おうと行われたもので、講師は井原市環境課の渡辺良信課長、井原リサイクルセンターの井上啓正代表、五味の宮本幸枝会長の三氏。出席した百五十人は「減らそうゴミ・生かさうゴミ・

渡辺課長はゴミ袋の透明化や分別について「収集作業の安全性や再利用の徹底、さらに清掃工場の安定化などの為には欠かせない」とその必要性を強調した。関心の高まるダ

ルールを正しく守って

▼渡辺課長

皆で取り組もう倉掛」を合言葉に熱心に聴講した。開会にあたり倉掛自治連合会の梶谷昌弘会長が、「多数の方々にお越し頂き有り難い。生活に密着したゴミ問題だけに関係者の説明をよく聴き今後に役立てて欲しい」と挨拶、出席者に感謝の意を表した。



- ゴミの出し方ひとつで近所同士が気まづくなる事もあります。細心の注意を払う気持ちを大切にしたい。(女性複数)
- 朝の9時前には回収車が来て集積場所もきれいに片づく。だが、その日の昼頃にはもう次のゴミを平気で出す人がいる。とても信じられない行為だ。(男性 65歳)
- 粗大ゴミは一般家庭での処理が不可能。市が前向きに取り組まなければ、結局不法投棄が増えはしないか。(男性・女性複数)

ゴミに関して一言

- 車で勝手にゴミを持参する見知らぬ人達に「掃除当番を1年間お願いします」と言いたい。また、市はそういう人の為にも堂々とゴミを持って行ける集積場所の設置を検討して欲しい。(男性・女性)
- ゴミ袋へ名前を書いて出すようにすればマナーも向上するのでは。(男性・女性)
- 井原市と井原放送が協力し、現物を示しながら映像でゴミに関する知識が得られる特別番組を制作したら、多くが参考になると思う。(男性 49歳)

倉掛の人達に聞きました

井原リサイクルセンターの井上啓正代表



他地区の迷惑ゴミに関する質疑の中で渡辺課長は「地元のゴミ問題は各自治会単位で解決して貰わねばならない。市は収集以外の関与は難しい」と答えた。後日、地区民から「ゴミ問題は当然皆の責任。だが行政側も積極的な姿勢で臨んで欲しい」との要望が広がり、特に粗大ゴミは処理場への持ち込みに困惑している現実が表面化した。住民と行政は常に好意的協力を惜しまないとする考えを優先した場合、こうしたギャップをどう埋めるか今後の課題とも言える。

トレーや貝殻は燃えるゴミ

▼井上代表

市内の不燃ゴミを分別している井原リサイクルセンターの井上代表は「貝殻や食品容器のトレーなど、台所から出る多くは燃えるゴミ。空き缶などと一緒にはしないで欲しい」と訴えた。

生ゴミ処理に工夫を

▼宮本会長

生ゴミを「ばかし」で減らそうと積極的に呼びかけている市民ボランティアグループ・五味(いつみ)会の宮本会長は、密閉容器などの利用による効果を分かりやすく説明。



五味(いつみ)会の宮本幸枝会長

「何とかならぬか」

家庭の粗大ゴミ

処理方法に困惑の声広がる

の方々も積極的に取り組み、ゴミの減量化を図って欲しい」と呼びかけ、出席者の注目を集めた。なお、コンポストなど生ゴミ処理器の購入にあたっては、市の補助がある。

倉掛健闘及ばず

第十一回井原町民体育祭

5月10日



小雨が降り続いた5月10日、井原公民館主催の第11回井原町民体育祭が井原小学校グラウンドで開かれ、井原町民の多数が参加した。



丸山泰弘君「小学生地区対抗リレー」

今年の倉掛は全般に採点種目が不振で、期待の綱引きも一方的に敗れた。

親子リレー2位

しかし、親子リレーなど伝統的に強い種目では底力を発揮、応援席も沸いた。総合成績こそ6位と低迷した倉掛だが「気楽に参加できて面白かった」と逆に笑顔は爽やかだった。

度より四つの区割りに半減した(倉掛は夏目と合併し倉夏学友団)。したがって七番目に行われた「中学生リレー」は、大会史上初めて四チームによる競走となった。

開会式で森下喜久雄井原公民館長が「事故の無い様、今日一日を楽しく過ごしましょう」と挨拶。続いて来賓の谷本蔵市長は「本日の体育祭が日頃の健康につながるよう頑張ってください」と参加者を激励した。

文芸作品第二席

中国新聞社主催・新人登壇

倉掛地区の山中美幸さんが受賞



は、登校拒否を明るく表現した内容で、審査にあたった作家・後藤明生氏から高い評価を受け、応募総数二百四十二編の中から選ばれたもの。

倉掛十八一三組の山中美幸さんが、中国新聞社主催第三十回新人登壇文芸作品懸賞募集で栄えある第二席(二編のみ)を受賞した。山中さんの作品「満月」

今回の受賞に対し山中さんは「執筆活動は四年前に井原市の文学賞を頂いてから。今後地道に取り組みたい」と喜びの表情で語っている。



息もピッタリの平井達也さんと文子さん夫妻 種目「あなたと二人で」

ラジオ体操に続いて演技に移り、幼稚園児のかけっこや小学生の躍動感溢れる姿には、各地区テントから盛んな声援が送られた。少子化による児童生徒数の減少を嘆く声は多いが、井原中学校の井原地区学友団もその例にもれず、本年

上手でしょ!!



「目隠しをして書きました」=面かき競争



ゴクゴク

「ラムネはびんを傾け過ぎたら玉がつまって飲めないですよ」と13-3組の三宅利男さん=ラムネ飲みリレー

優勝	6	7	点	点	点	点	点	点	点
2位	5	6	点	点	点	点	点	点	点
3位	5	2	点	点	点	点	点	点	点
4位	4	5	点	点	点	点	点	点	点
5位	4	4	点	点	点	点	点	点	点
6位	4	4	点	点	点	点	点	点	点
7位	4	1	点	点	点	点	点	点	点
8位	3	3	点	点	点	点	点	点	点

溝掃除近づく

倉掛の全域で

今年も倉掛全域の溝掃除が行う予定。

が近づいている。

「五月二十四日(日)から三十一日(日)の八日間の内に側溝の汚泥を土のう袋に入れておいて下さい」と協力を呼びかけているのは自治連合会の田中利治衛生部長。

なお、汚泥回収は、六月七日(日)に各組の自治会長と自治連合会役員が協力

廃品回収のお知らせ

とき 六月十四日(日) 午前八時
今回もご協力をよろしく
お願いいたします。不明な点は
育成会の的場会長へ。

倉掛少年団
倉掛少年団育成会

行事予定

- 5/23 田 防犯パトロール(自治連合会)
- 5/24~31 倉掛地区全戸溝あげ
- 6/7 目 倉掛自治連合会汚泥回収
- 6/7 目 消火器薬液交換
- 6/7 目 消防第5部試運転日
- 6/14 目 倉掛少年団廃品回収 8時~
- 6/20 田 防犯パトロール(自治連合会)
- 6/28 目 井原学区少年団球技大会
- 7/19 目 ラジオ体操(8月9日迄)
- 7/25~26 倉掛少年団キャンプ(弥高山)
- 7/26 目 '98モンゴル国際マラソン
実行委員長を倉掛12-1組の藤原達一さんが務める
- 8/9 目 井原町盆踊り大会(井原小)
- 9/13 目 井原町敬老会(井原小学校)



スポーツフェスティバル

4月29日の井原市スポーツフェスティバルに参加した倉掛少年団員と育成会員は、新緑の中でウォークラリーなどを楽しんだ。